

【2025年度 企画運営委員会 事業計画】

○目的 大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

○委員校 委員長校：関西学院大学、副委員長校：神戸学院大学
（全：11校） 委員校：関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算（千円）
課題⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進 近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。	1. リカレント教育の普及促進に向けた取組 2. 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	・各年参加者数50名以上 ・各年10校以上	大学・企業関係者による講演・意見交換会（年1回以上）	426 （受託事業収入）
課題⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成 定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。	1. 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築			
	1-1「兵庫県」大学生等インターンシップ推進事業～テーマ型企业理解プログラム～	・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年	大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）	4,583 （受託事業収入）
	1-2 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム			2,300
	2. 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築			
	賛助会員と加盟校の懇親会、企業課題解決プログラム、リスクマネジメント等	・緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築 ・参加校・団体数 10校・団体以上/年	大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）	1,000
課題⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備 事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学の活性化につながる。	1. 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	・加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築 ・アンケートの実施1回以上/年	企画運営委員会等における懇談の実施（年10回以上）	500

【2025年度 企画運営委員会 事業計画（⑧取組1・2）】リカレント教育の普及促進に向けた取組・加盟校のリカレント教育に関する情報発信

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）		
兵庫県委託事業「令和7年リカレント教育推進事業」 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 目的：2040年に向けた高等教育のグランドデザインでは、社会人を含む多様な学習者を受け入れるリカレント教育の充実が求められている。そこで、産官学連携による推進や教育体制の柔軟化を図り、県内大学の特色を生かした取り組みや実績を紹介することで、今後の展望を探る機会を設ける。 また、コンソのネットワークを活用し、大学教職員や企業の人事担当者の理解を深め、リカレント教育推進の機運を醸成するとともに、県内大学のリカレント講座の情報発信の強化を目指す。 受託・運営する業務内容は以下の通り。 【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成 ・リカレントフォーラムの実施 県内大学の教職員や企業の人事担当者を対象にリカレント教育の理解促進を図るための講演を行うとともに、企業のリカレント教育に関するニーズを把握するため、大学の教職員と企業人事担当者等との意見交換会を実施する。 開催時期：2025年8月～2026年3月予定（1回） 【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 ・県内大学のリカレント講座のPR 県民や企業人事担当者を対象に県内大学のリカレント教育を紹介する。									
達成目標に対する実績									
活動指標に対する実績									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	426,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成　3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った　1：当初計画を下回った				※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき　3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要　1：本プログラムは中止すべき			

【2025年度 企画運営委員会 事業計画（⑨取組1-1）】「兵庫県」大学生等インターンシップ推進事業～テーマ型企业理解プログラム～

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）				
兵庫県労政福祉課委託事業 「令和7年度大学生等インターンシップ推進事業（テーマ型企业理解プログラム）」 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 本プログラムを通して、大学2～3年生を中心とした学生が、特定のテーマのもと就業体験を行い、兵庫県内企業や地場産業の魅力を深く理解することを目的とする。 受託・運営する業務内容は以下の通り。 (1) 連絡協議会への参画 関係機関（県、神戸市、労働局、商工会議所、県工業会、県経営者協会、県内の大学等で構成する団体等）による情報交換会に参画し、事業の円滑な運営を図るとともに、中小企業の人材確保方策を検討する。 (2) インターンシップ実施に向けた準備 ① 座学・就業体験を含む数日～5日程度で実施 ② 大学や企業と調整のうえ、テーマごとにコースの作成（地場産業型、業界型、観光型、地域型等） ③ 大学等に対し学生が当事業へ参加できるよう調整を実施 ④ 協力機関（産地組合や金融機関等）と連携したインターンシップ受入企業の開拓 (3) インターンシップの運営 ① 効果的な体験実習が行えるよう、就業体験初日に事前学習を実施 ② アンケート等、参加学生に実習で学んだことを整理し、今後の職業選択等に役立てるための振り返りを実施 (4)その他 インターンシップ事業の推進に必要な業務を行う。											
達成目標に対する実績											
活動指標に対する実績											
自己評価基準：対到達目標※											
自己評価基準：対継続性※											
事業収支	収入	4,583,000円	支出		収支		支出		収支		
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）											
※自己評価基準：対到達目標		4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った				3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った		※自己評価基準：対継続性		4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要	3：本プログラムは継続しても良い 1：本プログラムは中止すべき

【2025年度 企画運営委員会 事業計画（⑨取組1-2）】第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）		
「第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」の開催 2024年度より、企画運営委員会を中心に、理事会・各事業委員会にて検討・決定した内容をもとに、引き続き、様々な大学の意見を取り入れ、加盟校全体を巻き込みながら、他エリアのコンソーシアムや大学への周知を図る場を創出する。 ●実施概要 開催日：2025年 8月30日（土）・31日（日） 会 場：神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス 共 催：全国大学コンソーシアム協議会、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 協 力：神戸学院大学（会場校） ●テーマ 「激変する将来社会を切り拓く新たな人材の育成にむけて～不易流行で考える大学間連携と産官学協働～」 ●スケジュール <8月30日（土）午前> ・加盟校教職員向けSDワークショップ ・キャリア・リカレント職員向けプログラム <8月30日（土）午後> ・シンポジウム ・加盟校によるパネル展示 「兵庫から発信する大学間連携や産官学連携」 ・ポスターセッション ・学生ステージ ・情報交換会 <8月31日（日）午前> ・分科会									
達成目標に対する実績									
活動指標に対する実績									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	2,300,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った				※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき			

【2025年度 企画運営委員会 事業計画（⑨取組2）】賛助会員と加盟校の懇親会、企業課題解決プログラム、リスクマネジメント等

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）		
(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制について意見交換を行う。加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。 今年度も引き続き、以下において定期的に意見交換を行う。 ・企画運営委員会での懇談 ・産官学連携協議会での懇談 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 ・賛助会員企業・団体との懇親 ・「企業課題解決プログラム」の実施 (2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、リスクに関する情報交換会を開催し、具体的な運用について議論する。									
達成目標に対する実績									
活動指標に対する実績									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	1,000,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った				3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性		4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要	
								3：本プログラムは継続しても良い 1：本プログラムは中止すべき	

【2025年度 企画運営委員会 事業計画（⑩取組1）】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）		
加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参加できる事業運営体制の構築に向け、2024年度は、加盟校の多様な意見と知見を活かし、事業の発展と安定的な運営体制の確立を目的として、①2025年兵庫県開催の全国コンソ検討、②コンソ事業の安定化に向けた会員・会費制度の検討、③リスクマネジメント・リカレント検討、の3つのワーキンググループを設置。各WGでは課題の解決策を検討し、今後の事業発展に向けた具体的な取り組みを進めた。 また、2023年度に実施した加盟校教職員アンケートの結果を受け、学内業務の効率化を図るため、教職員募集情報のコンソーシアムHPへの一元化を実施するなど学内業務の効率化に向け、加盟校間での情報共有を強化した。 2025年度は、これまでの取り組みを踏まえ、引き続き以下の施策を実施する。 ●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る。 ・HP：加盟校専用ページ 各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップの共有化 ・HP：トップページ 加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新 ・note 事業委員会活動の実施報告、加盟校学生の地域活性化に関わる取組広報 ・SNS（Facebook・X・Instagram） 事業委員会活動の案内 ・メルマガ配信 加盟校教職員に月1回情報発信 ・加盟校学生や教職員へのアンケートの実施 アンケートの集計後、分析結果等の加盟校への共有 ●企画運営委員会（原則、月1回開催） なお、小グループでの課題の共有、プロジェクト型での事業推進についても加盟校等からのニーズがあれば、企画運営委員会において検討し、対応する。									
達成目標に対する実績									
活動指標に対する実績									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	500,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成　3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った　1：当初計画を下回った				※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき　3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要　1：本プログラムは中止すべき			

【2025年度 企画運営委員会 事業予算】

(単位：円)

予算			各取組 予算					委員会 予算
			⑧取組 1 ・ 2	⑨取組1-1	⑨取組1-2	⑨取組2	⑩取組 1	
			県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成			加盟校が活性化する 事業運営体制の整備	
				兵庫県受託事業 「テーマ型企业理解プログラム」	全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム	懇親会・企業課題P・ リスクマネジメント		
予算額			予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	
収入	会費収入	1,500,000				1,000,000	500,000	
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	5,009,000	426,000	4,583,000				
	プログラム収入	2,300,000			2,300,000			
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	8,809,000	426,000	4,583,000	2,300,000	1,000,000	500,000	0
支出	会議費	1,200,000			800,000	400,000		
	旅費交通費	382,000	40,000	172,000	120,000	50,000		
	通信運搬費	243,600	80,000	138,600	25,000			
	消耗品費	148,600	10,000	138,600				
	新聞図書費	50,000			50,000			
	印刷製本費	1,413,300		113,300	600,000	300,000	400,000	
	光熱水料費	0						
	賃借料	587,900	20,000	262,900	155,000	150,000		
	保険料	0						
	謝金	469,500	120,000	49,500	250,000	50,000		
	租税公課	200	200					
	支払手数料	5,800	5,800					
	諸会費	0						
	委託費	300,000			150,000	50,000	100,000	
	人件費	3,858,100	150,000	3,708,100				
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
	雑費	150,000			150,000			
	計	8,809,000	426,000	4,583,000	2,300,000	1,000,000	500,000	0

収入－支出	0
-------	---